

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドリームズ・21st 松阪駅前田校		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57名	(回答者数) 48名
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して通所できる事業所である。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの表情や行動を常に見守り、子どもが居心地がよい環境を作っている。 一人ひとりの子どもの状況や育成支援の内容を毎日記録している。 子どもたちの様子を随時保護者に伝え職員と共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが持ちぶたさにならないように、イベント等を考える。 職員が話し合いのもとPDCAサイクルを持って、日々の支援にあたっていく。 送迎等直接保護者と会えない場合は電話やLINEで伝える。
2	飼い動物(うさぎ)アニマルセラピー	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが喜ぶため可能な時間はゲージから出し、室内散歩をさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが動物に対しての接し方を学べるよう声かけ等を行う。
3	個々の目標に向けたきめ細やかな配慮がある	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの特性に応じてそれぞれが取りくみやすいようにカスタマイズしている。 	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が広くないので十分な運動プログラムができにくい。事業所の広さが限られているので、体を十分に動かす運動をさせるのは難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 現在の事業所スペースでも出来る室内運動を考える。 スペース上の問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 卓球台を置き、勝負にこだわらず楽しく仲良くピンポン玉で遊ぶようにした。 長期休暇等外部の体育館や公園を利用する機会を増やす。
2	非常時の対応情報共有ができていない。		<ul style="list-style-type: none"> 災害時対応マニュアル等をLINEに挙げ、非常時での連絡を明確にする。
3	地域との交流が難しい	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の場所的に難しい面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは他事業所との交流を深めることから始めてみる。